第 19 回技術研修会(現地研修会:大和高田市管理)を開催

□2025 年 8 月 8 日(金)13 時 30 分～16 時、奈良県、大和高田市のご協力のもと、陵 91 号線 1 号橋および高 152 号線 1 号橋（大和高田市管理）を対象に第 19 回技術研修会を開催しました。

□奈良県コンクリート診断士会からは 15 名、奈良県道路メンテナンス会議からは 26 名（奈良県および 5 市 3 町 6 村)、奈良県治山事業促進協議会からは 4 名（奈良県および 1 市 1 村）の参加があり、合計 45 名で第 1 部を陵 91 号線 1 号橋および高 152 号線 1 号橋での現地研修、第 2 部を市役所 3 階庁議室での座学研修として、2 部構成で実施しました。

□陵 91 号線 1 号橋（桁長 5.2m、幅員 13.50m、建設年次不明）は、鉄筋コンクリート（RC）版桁で、桁下面に豆板やかぶり不足などの初期欠陥があり、桁下面の鉄筋腐食や浮きなどの変状が見つかったもので、2019 年度および 2024 年度に実施された近接目視点検において、判定区分Ⅲ（早期措置段階）と診断されたものです。また、高 152 号線 1 号橋（桁長 8.5m、幅員 6.0m、建設年次不明）は、プレキャストの RC 版桁に、後年度プレキャストの PC プレテン桁が拡幅施工されたもので、特殊な形状をした逆凹型のプレキャスト RC 桁下面にかぶり不足に伴う軸方向鉄筋の腐食などの変状が見つかったもので、2019 年度および 2024 年度に実施された近接目視点検において、判定区分Ⅲ（早期措置段階）と診断されたものです。

□第 1 部では、これまでの現地研修会では初めての構造形式となる RC 版桁の点検上の留意点などについて研修しました。また、第 2 部の座学研修では、RC 版桁の設計上の特徴や鉄筋の定着などについて補足説明を行い、RC 版桁の点検や診断、補修計画策定上の留意点などについての理解を深めました。

□奈良県や関係市町のご協力を得て供用中の橋梁を対象に行う現地研修は、2024 年度に引き続いて 9 回目の開催となりました。これは、奈良県コンクリート診断士会の設立目的である会員の技術力向上や地域貢献に大いに資するもので、以降も継続して開催できるように、連携を深めていく予定です。

▲ 現地研修（陵 91 号線 1 号橋）

▲ 現地研修（高 152 号線 1 号橋）

▲ 座学研修（大和高田市市役所 3 階庁議室）

▲ 質疑応答